

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年10月1日(2020.10.1)

【公開番号】特開2019-62430(P2019-62430A)

【公開日】平成31年4月18日(2019.4.18)

【年通号数】公開・登録公報2019-015

【出願番号】特願2017-186164(P2017-186164)

【国際特許分類】

H 04 S 1/00 (2006.01)

H 04 S 7/00 (2006.01)

【F I】

H 04 S 1/00 5 0 0

H 04 S 7/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月19日(2020.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本実施形態にかかるプログラムは、コンピュータに対して、処理方法を実行させるプログラムであって、前記処理方法は、オーディオ信号用のフィルタの周波数特性を取得するステップと、前記周波数特性を平滑化して、平滑化特性を求めるステップと、前記平滑化特性のボトム位置に基づいて、複数の分割候補点を決定するステップと、前記複数の分割候補点に基づいて、1つ以上の帯域分割点を決定するステップと、を含むものである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0068】

s F' [w] * s F' [w + 1] が 0 より小さくないと判定された場合 (S 1 0 5 : N O) 、あるいは、n をインクリメントした場合 (S 1 1 0) 、w をインクリメントして、ループ処理を繰り返す (S 1 1 1) 。したがって、候補点決定部 213 は、全周波数点に対して、S 1 0 5 ~ S 1 1 0 の処理を実施する。ここでは、w が W m a x に到達するまで、候補点決定部 213 は、w のループ処理を継続する。これより、候補点決定部 213 が、平滑化特性の全ての極大値、及び極小値を抽出することができる。候補点決定部 213 は、全ての極値の周波数点、及び振幅値を記憶する。なお、平滑化特性が極大値の場合、v a l u e [n] は正の値となり、平滑化特性が極小値の場合、v a l u e [n] は負の値となる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】

